

「トリチウム汚染水海洋放出の危険性」

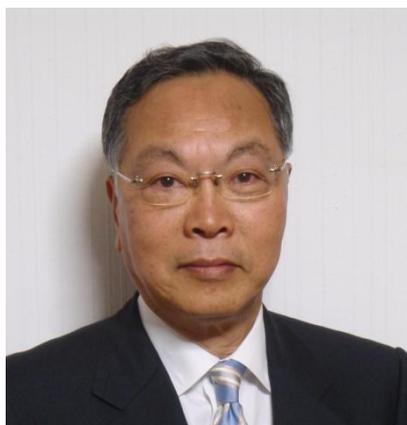
日時：2021年3月6日（土）13時30分開場 14時から講演

会場：立川市女性総合センター・アイム 5階 料理実習室

東京電力は福島第一原発事故により増え続けるトリチウム汚染水の処理方法として、希釈しての海洋放出を考え、政府経産省もそれを認めようとしています。そもそもこの放射能汚染水はトリチウムだけでなくストロンチウム90のような他の核種も含まれていています。

福島の漁民は生活破綻だとして、猛反対をしています。同時に私たちの命にかかわる問題であり、環境に与える影響も大きく、海洋放出は大きな危険性があります。この問題を掘り下げ、ほかに方法はないのかについて、当時の原発設計者として渡辺敦雄さんから、分かりやすい講演をしていただくことになりました。

講師《渡辺敦雄氏プロフィール》



1947年上野原市生まれ。1971年東京大学工学部卒、株式会社東芝入社。原子力事業部配属（福島第一原子力発電所3, 5号機、女川原子力発電所1号機、浜岡原子力発電所1, 2, 3号機の基本設計担当）。1998年環境技術部長。2000年神戸大学客員教授。2009年沼津高専物質工学科教授（2012年退職）。現在山梨地方自治研究所副理事長。専門：原子力工学、危機管理学、環境工学

※注意：オンライン(zoom仕様)URLをお知らせにて配信開始
Zoom参加以外の方は会場のアイムにお出かけ下さい。

共催：日の出の森・支える会 たまあじさいの会 協賛：日の出の森・水・命の会

問い合わせ・申し込み先：日の出の森・支える会

mail:hinodenomori@tokyo.email.ne.jp

電話：042-523-7297